



## 北海道新幹線、木古内駅 安全祈願並びに立柱式について

北海道新幹線 木古内駅は、これまで土木工事を主体に建設を進めてまいりましたが、平成24年12月に駅の建築工事が発注され、いよいよ今年6月より建築工事を本格的に着手する運びとなりました。

つきましては、北海道新幹線、木古内駅の建築工事の安全祈願並びに立柱式（鉄骨の柱を初めて建てる式）を下記のとおり執り行うこととなりましたので、お知らせいたします。

### 記

- 1 日 時 平成25年5月29日（水） 10時30分から
- 2 場 所 木古内駅建設予定地  
上磯郡木古内町字木古内189-2 （別紙案内図参照）
- 3 主 催 大林・伊藤・松本 北海道新幹線、木古内駅新築  
特定建設工事共同企業体
- 4 その他 報道関係の方々は、10時00分までに式典会場にお集まり下さい。

※ 添付資料・木古内駅説明資料

#### 問い合わせ先

鉄道・運輸機構 鉄道建設本部

北海道新幹線建設局

総務課長 佐々木 猛

電話 011-231-3456

## 1 建築工事の概要

資 料

駅本屋：約1,850 m<sup>2</sup>（高架下）

旅客上家：約6,410 m<sup>2</sup>（ホーム階全てを屋根で覆う全覆型）

## 2 駅施設の概要

1 階：改札口、駅事務室等

2 階：プラットホーム相対式2面3線 ホーム長 263 m

## 3 完成予想図

【 外 観 】

### 木古内駅 波と森のプロムナード ～ 北の交流発信地 ～



過去、現代、未来へついでなる町の歴史性を、打ち寄せる波のリズムや木々の合間に満ちる木漏れ日にのせてデザインしています。

垂直性を強調したリブ状の壁面は、間隔を変え、寄せては返す津軽の浜辺の波を表現しています。同時にしっかりと根を下ろし、たくましく生きる木々や人々をイメージしています。



【 コンコース 】



【 ホーム 】

# 安全祈願並びに立柱式 会場案内図

